

2025 年 2 月 3 日

各位

大栄環境株式会社
資源循環システムズ株式会社

使用済み容器包装プラスチックを株式会社 LIXIL の循環型素材「レビア」に供給
再資源化が困難で焼却されていたプラスチックを製品化することで資源循環を推進

大栄環境グループは、使用済み容器包装プラスチックを再生材料として株式会社 LIXIL（以下、「LIXIL」という。）の循環型素材「レビア」へ供給を始めました。プラスチック製容器包装廃棄物は半数が製品利用され、半数はリサイクル不適物として焼却処理されております。リサイクル不適物として焼却されていたものをマテリアルリサイクルなどに有効利用することは、焼却処理されていた場合と比べてCO2 排出削減にも寄与する重要な取り組みとなります。

記

1. 取組みの概要

LIXIL は、これまで再資源化が困難とされ、焼却や埋め立てによって処理せざるを得なかった複合プラスチックをはじめとするほぼすべての種類の廃プラスチックと、廃木材を融合した循環型素材「レビア」を 2022 年に発表、2023 年 1 月には「レビア」製品第一弾となる舗装材「レビアペイブ」の発売をしております。

レビアの量産化を図るにあたり、プラスチック製容器包装の再資源化を行っている大栄環境グループが実施しているプラスチック製容器包装の材料リサイクル工程で発生するリサイクル不適物を対象にレビアへの活用が可能か検討してまいりました。

今回、リサイクル不適物の特性を把握し、溶出検査による有害物質の含有調査と成形テストを実施した上で、安定した品質と量を確保できると判断し、供給することが可能となりました。本製品は 2024 年 12 月に量産体制が整い、iCEP PLASTICS のリサイクルコーディネートのもと大栄環境グループの DINS 関西株式会社 R&E 事業所より順次材料を供給してまいります。今後 LIXIL のレビア事業のさらなる拡大に向け、廃プラスチックの回収・供給面での支援および関連行政との調整など、密に連携してまいります。

大栄環境グループは、資源循環型社会の実現に向け、廃プラスチックから再生ペレットやリサイクルパレットを製造する施設の強化を図りながら、パートナー企業との連携により、廃プラスチックの新たなリサイクル技術の開発にも取り組んでおります。自治体・パートナー企業と連携し、より良い資源循環モデルの創出につながるよう、今後も様々な施

策を検討してまいります。

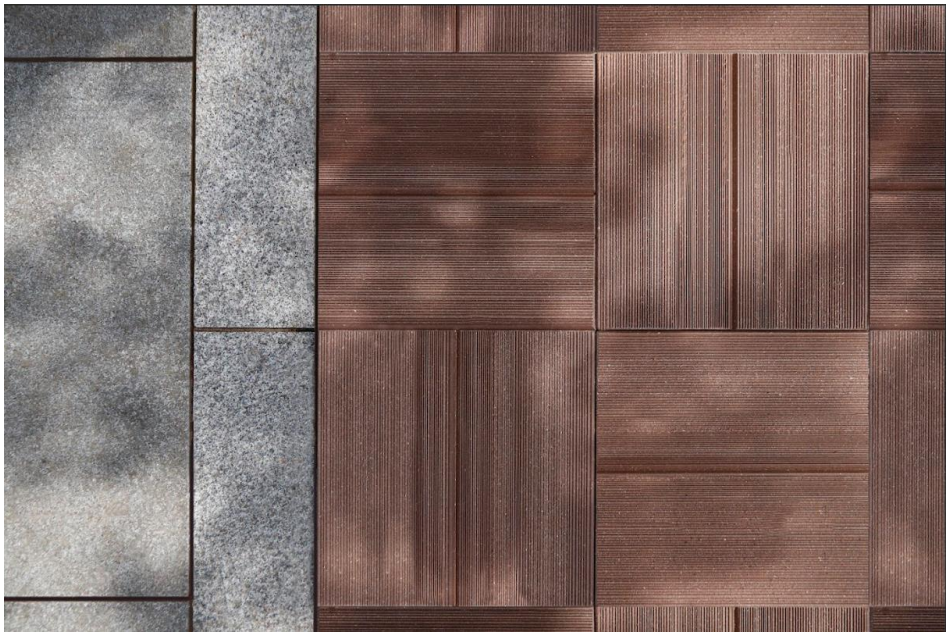
2. その他参考資料

▽溶出検査結果

土壌溶出試験

分析項目	単位	分析結果	分析項目	単位	分析結果
総水銀	mg/L	0.0005未満	砒素	mg/L	0.001未満
カドミウム	mg/L	0.0003未満	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.0005未満
鉛	mg/L	0.001未満	セレン	mg/L	0.001未満
六価クロム	mg/L	0.01未満	ベンゼン	mg/L	0.001未満

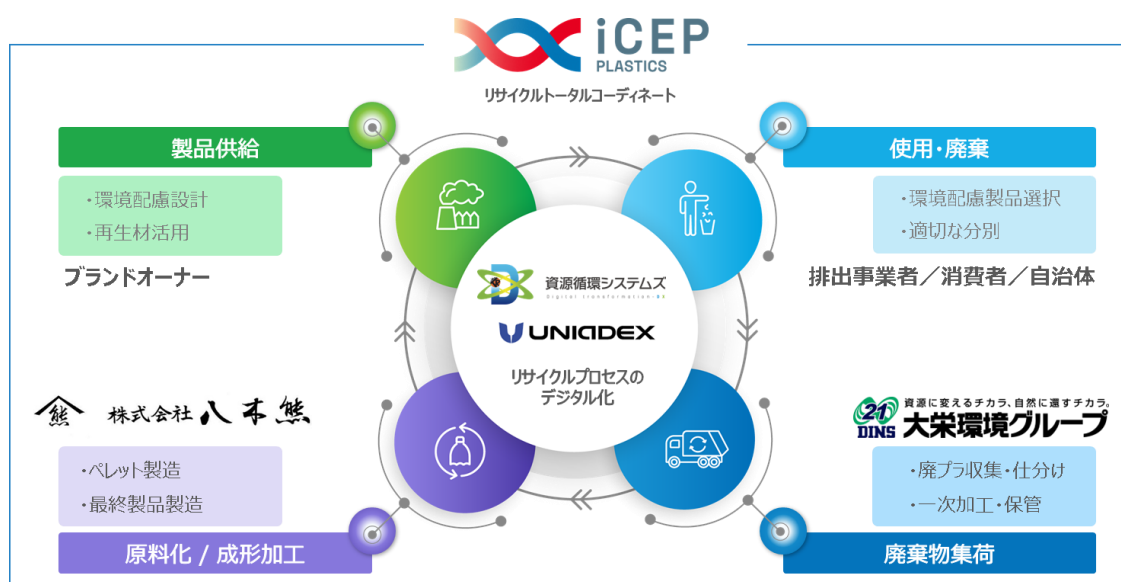
▽LIXIL 循環型素材「レビア」 商品画像





▽動静脈連携リサイクルトータルコーディネート iCEP PLASTICS

大栄環境株式会社、資源循環システムズ株式会社、株式会社八木熊、株式会社ユニアデックスの4社により、各社の強みを活かした廃プラスチックの回収・再生樹脂化・成形加工・製品化をワンストップで提供し企業のリサイクルスキームの構築を支援



※icep: intelligence Circular Economy Platform

<https://icep-plastics.rcs-dx.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先
資源循環システムズ株式会社 取締役 瀧屋
Mail : info@rcs-dx.jp